

大会テーマソングの制作が決定しました!

第61回全国植樹祭を盛り上げ、親しみやすいものとするために、藤沢市出身・鎌倉市在住で、かながわ環境大使でもある白井貴子さんにお願いして、大会テーマソングを制作することが決定しました。

本年10月に実施する予定のカウントダウンセレモニーでのお披露目を目標として、大会テーマソングを制作していただきます。皆さま楽しみにお待ちください。



松沢知事(左)から大会テーマソング制作の委嘱状を受け取られた白井さん(右)

かなりんちゃんファンクラブ募集中!

うれしい特典がいっぱい!

第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会では、「かなりんちゃんファンクラブ」(個人協賛)の会員を募集しています。

1口 3,000円(何口でもできます。)

ご入会いただける方には、振込料不要の専用振込依頼書をお送りしますので、実行委員会事務局までご連絡ください。

〈会員特典〉

1口以上

・大会オリジナル「かなりんちゃんピンバッジ」と草木染めの「かなりんちゃんハンカチ」をプレゼントします。
・ご希望により、お名前を本実行委員会のホームページに掲載します。

3口以上

・上記特典に加え、大会オリジナルポロシャツをプレゼントします。
・さらに、抽選で「かなりんちゃん」のぬいぐるみをプレゼントします。

5口以上

・上記特典に加え、大会で使用したベンチを抽選で100名にプレゼントします。
(配付は大会終了後、指定日時・場所にて)

(財)かながわトラストみどり財団のイベントについて

「森林づくり体験講座」の参加者募集

森林づくり活動初心者のための講座です。森林作業体験と森林に関する講話により森林づくりへの理解を深めていただけます。経験者の参加も歓迎します。

開催概要

- 〈日時〉平成21年8月15日(土) 8時30分～15時30分(予定)
※当日が荒天の場合は8月16日(日)
- 〈場所〉山北町皆瀬川(大野山山頂付近)
- 〈内容〉下草刈り体験と講話(山北の森林と昔話)
- 〈集合〉小田急線「開成駅」西口 8時30分(借上げバスで現地に移動)
- 〈定員〉30名(応募多数の場合は抽選)
- 〈申込み〉往復葉書に講座開催日、参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を記入し、8月1日までに下記へ。
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20
(財)かながわトラストみどり財団
電話:045-412-2255 FAX:045-412-2300

「かなりんちゃんグッズ」発売中!!

大会記念「かなりんちゃんグッズ」を発売中です!



※掲載した商品以外にも多数の商品があります。

〈商品に関するお問い合わせ〉

- ①② (有)トミーワークス 電話:044(871)5305
- ③ (株)あすなる舎 電話:0120(334)337
- ④ 神奈川県障害者地域作業所連絡協議会 電話:045(311)8752

全国植樹祭だより

かながわ未来の森

第6号

平成21年6月



たくさんのご参加
ありがとうございます!
ございました!

雨の中、ありがとうございました! かながわプレ大会2009

平成21年5月24日(日)、第61回全国植樹祭かながわプレ大会2009を、足柄森林公園丸太の森地区と、秦野戸川公園地区の2会場で開催しました!

プレ全国植樹祭は、平成22年春季に神奈川県で初めて開催する全国植樹祭を、多くの県民の皆さまに知っていただき、身近に感じていただきながら、一緒に盛り上げていきたいという思いを込めて、本大会の概ね1年前というタイミングで、全国植樹祭の会場市である「南足柄市」と「秦野市」の2会場で開催しました。

- 開催日 平成21年5月24日(日)
- 開催概要 会場 南足柄会場: 足柄森林公園丸太の森地区(式典)、南足柄市塚原地区 足柄林道沿い(植樹) 秦野会場: 秦野戸川公園地区(式典・植樹)
- 参加者 南足柄会場: 964人(内、植樹参加者290人) 秦野会場: 2,078人(内、植樹参加者407人) 2会場合計: 3,042人(内、植樹参加者697人)



神奈川からCO2削減を呼びかけ「クール」な地球を取り戻そうという、地域から「地球復興」を目指す『クールネッサンス宣言』のロゴマーク



古紙配合率100%再生紙を使用しています

お問い合わせはこちらまで

第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会事務局
(神奈川県環境農政部森林課全国植樹祭推進室内)
〒231-8588 神奈川県横浜市中央区日本大通1
TEL:045-210-4373 FAX:045-210-8855
URL:<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/index.html>

南足柄会場と秦野会場の両会場で植樹を行いました!

当日は、朝から雨雲が立ちこめ、時おり強い雨が降るという、あいにくの天候でしたが、招待者及び一般公募で参加した約700名の方々が、両会場で、イロハモミジ、ケヤキ、ヤマボウシなどの植樹を行いました。



南足柄会場の植樹の様子



秦野会場の植樹の様子



みどりの誓い

記念式典では、それぞれの会場で、県内の緑の少年団やボーイスカウトの子どもたちが、かながわ環境大使であるミュージシャンの白井貴子さんと、神奈川の森を守り育てていくため、



南足柄会場での「みどりの誓い」の様子

未来の森林づくりに向けた思いを発表してくれました。

この「みどりの誓い」は、白井貴子さんがメッセンジャーとなって、南足柄会場から秦野会場へ届けられ、両市の交流を深めました。

「みどりの誓い」

- 木の葉は枯れてもなお、フカフカと山を包んで、「綺麗な水を作る」という最後の大切な役割を果たしている。「森は緑のダム」だから僕達ももっと、お爺ちゃん、お婆ちゃんを大切にしてくちゃね! 教えてもらった素晴らしい先輩の知恵を大切に活かせば、世の中の空気ももっと良くなるかも!
- 自分のために、皆のために、幸せな未来のために「明日という苗を植えよう!」そして「地球」の恵みに「ありがとう!」の気持ちを忘れない!
- 自然は水、山、植物、動物が仲良く暮らしています。みんなみんな命が繋がっています。その自然を壊すのも、守るのも人間! 私達は沢山のお話を聞いて、緑を、自然を、大切にしようという心を決めました!

雨にも負けず会場は大盛り上がり!

地元の小中学生による演奏や、郷土芸能の披露により、雨にも関わらず会場は大いに盛り上がりました。

また出展ブースでは、県産のヒノキを使った“マイはし作り”体験や、県内特産品の販売、森林の大切さを伝えるパネルの展示などで、楽しみながら森林に親しんでいただきました。

未来の芽



「苗木のホームステイ」の苗木たちは、2度目の春を迎えました。

暖かくなるにつれ、冬芽が次第に膨らんで、中に小さくたたまれていた葉がそろそろ顔を覗かせます。

コナラの若葉は、細い毛に包まれていて、白くふわふわです。葉が大きくなるにつれ、毛が少なくなり、赤味もなくなり、淡い緑色を経て深みのある緑色になります。

クヌギの若葉は、表面の凸凹



ほころび始めたコナラの冬芽



コナラの若葉

が目立ち、赤味を帯びています。葉が大きくなるにつれ、平らになり、赤味もなくなってきます。

シラカシの若葉は、薄くて柔らかく、全体に赤味を帯びています。葉が大きくなるにつれ、葉は厚く硬くなり、緑色になります。

若葉の赤い色はアントシアニンという色素で、若葉の成長を紫外線から守っているといわれています。

葉が出揃うと水の吸い上げが活発になります。水やりが欠かせませんが、水をやりすぎると根が腐ってしまうので、土が乾いてからたっぷり水やりをします。



クヌギの若葉



シラカシの若葉

このコーナーでは、「苗木のホームステイ」の様子についてお伝えしていきます。

My 森林物語

“NPO法人緑のダム北相模”の森林活動

NPO法人緑のダム北相模 石村 黄仁

当会活動は発足以来12年間、「継続は力…雨でも休まず」と活動を一度も休んだことがない。その結果、森林市民運動として稀であると言われる「FSC国際認証の森」を登録し、大臣表彰など多数の実績を上げる事となった。

活動の拠点は、神奈川県最北・最奥の相模湖町では、「相模川流域をつなぐ」①相模湖・小原本陣の森、②若柳嵐山の森、③緑のダム北鎌倉、④緑のダム湘南の森”の4拠点がある。

近年、森林の荒廃が言われる中、当会は、「森林破壊と言う負の遺産を子孫に残してはならない」と言う基本理念の下、活動は以下の三原則からなり、夫々に具体的な事業で構成している。

1. 森を守る環境保全事業

- ①若柳嵐山の森: 市民交流・里山の森
- ②小原本陣の森: 経済林を目指す集約施業の森

2. 森と(都市を)つなぐ持続的社會をつくる事業

- ①緑のダム体験学校: 都市部の人々の森林交流
- ②甲州古道復活事業: 歴史と文化の継承

3. 森を生かす経済創出事業

- ①県産材活用
- ②県産材利用広報



※ 筆者のご紹介 石村黄仁様は、NPO法人緑のダム北相模の理事・事務局長として、1998年11月の同NPO法人発足以来、12年間、定例活動日はまさに「雨でも休まず…」のモットーのとおり活動を継続していらっしゃいます。同NPO法人は2007年に(社)国土緑化推進機構会長賞を受賞、2008年には※(財)ソロプチミスト日本財団から感謝状を贈呈され、2009年4月からは毎日新聞社との森林の保全・再生プロジェクトを行うなど活動の幅を広げられています。

※(財)ソロプチミスト日本財団は人権と女性の地位を高める活動を行う団体です。同NPO法人では女性の活動が盛んであることから、感謝状が贈呈されました。



- 間伐材の製品開発: FSC材積木、学童机イス、建築材としての材伐出など
- 親子森林体験教室: 年4回程度の森林体験
- 森林整備技術講習会、先進的な森林見学会



当会が、このような団体に育ったのは、「かながわボランティア基金21」による5年間の資金支援、および組織運営のノウハウの指導を受けて来たからである。そして本年より、相模原市との協働事業として「小原本陣の森: 生産林・集約施業システムづくり」に取り組み、更に森林の保全・再生の腕を磨く事となった。

このような活動が、市民側から神奈川県森林政策に少しでも貢献できる事は、この上なく嬉しい事でありこの5月、プレ植樹祭が開催された折、当会も、これに参加した。

間伐材で作ったFSC材積木

このコーナーでは、県内で森林を支える方々のインタビュー・活動等をお伝えしていきます。

輝 Kids

山や緑にふれ合って

そえのりかこ 秦野みどりの少年団 添野 里佳子 (秦野市立西中学校2年生)

山がそこにあるから。兄や姉が入っていたから。当然のように、小学校4年生からみどりの少年団に入団しました。

新緑の黄緑色から濃い緑、秋の紅葉、落ち葉など山はいろいろな顔を見せてくれます。木々に囲まれて活動する下草刈りや落ち葉かき、その落ち葉を使った滑り台はとても楽しいです。

平成19年、小学校6年生の秋に、戸川公園にドングリを拾いに行きました。鉢にまいて、植樹祭用の苗木を育てるためです。今、わたしの家では12本のドングリの木が30センチ位

に育っています。そして、平成22年春に行われる全国植樹祭で、森に帰っていくのを待っています。

わたしは来年、中学3年生になります。みどりの少年団として、植樹祭に参加することを今から楽しみにしています。

これからも、山や緑を大切にしていきたいと思います。



このコーナーでは、県内の「緑の少年団」の子どもたちの活動などをお伝えしていきます。